

# はぐくむ光のびる若芽

106

橋場 川島朋子

わが家は、私たち夫婦と腕白坊主の小学校4年生の長男、おませでよつぱり甘い坊の小学校2年生の長女の4人家族です。これと言った教育や躾はしていませんが、普段から心がけている事は、まず両親が仲良く心身共に健康である事、子供たちは好き嫌いなく何でも食べる事です。何事もなく元気に育った子供たちと平々凡々と毎日を過しています。

ある日の夕食の時の事です。息子から「お父さん、お母さん子供は親の背中を見て育つと言った言葉、知ってる？」と話しかけてきました。「トキッ」として主人と顔を見合わせてしまいました。その場合は、言葉の意味を説明して終わりましたが、「親の背中」と言った言葉がとても重く感じました。私たちが夫婦は、楽天的

性格で「明日は、明日の風が吹く」とばかりに自分の背中など気にせずに生活してきましたが子供たちはその背中に何を見ているのだ

## 子供たちの前を一生懸命に歩きたい

つではあるけれど親の背中から何かを見つけ始めたのかも知れません。それは、子供たちだけにしか見えないと思います。絶望とがあきらめ、不信と言った物にならないよう



▶腕白な寛之くんとおよつぱり甘い坊の英美子ちゃん兄妹

ろつか？親は子供の中に、愛情・夢・希望・感動・喜び、また忍耐・悲しみ・挫折など様々な物を見ています。これらは親を成長させてくれる子供たちからのプレゼントなのです。きっと、子供たちも同じ様に少しず

に、子供たちと一緒にいる時間を大切に過したいと思えます。まだまだ薄っぺらで、霞んでいる背中だけれど子供たちの前を一生懸命に歩いて行きたいと思えます。



特集

## 集団リハビリ教室

### 体を動かそう会

病気や、外傷で体が不自由になった方々が少しでも明るく、家に閉じこもりがちにならないよう、年8回町民会館等に集まり、理学療法士さんを変えて体操やゲーム、手工芸などを行っています。

12月9日(写真)は、栄養改善推進員さんやボランティアの方々との協力で、クリスマスリース作りをしました。2人一組で、杉の葉をまさつける人とおさえる人になかれ、ひいらぎを飾りつけ、手ぎわよくできました。できたリースはそれぞれが、手作りの感じが、とてもよくできていました。

毎回7〜8人の参加があります。最近病院を退院された方など、新しい方の参加も歓迎しますので是非ご



▲ 栄養改善推進員さん、ボランティアの方々の協力を得ての楽しいリース作り



参加ください。家族の方が送迎できない場合は、送迎も行います。  
次回は2月10日(水)・3月10日(水)午前9時30分から町民会館で行います。ボランティアで参加してみたい方、大歓迎です。  
問合せ 保健センター ☎  
①1158・社会福祉協議会 ☎②13358